

作成日 2011/5/24
改訂日 2023/4/10

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 XYL試薬
製品コード 70530
供給者の会社名称 ビオメリュー・ジャパン株式会社
住所 東京都港区赤坂二丁目17番7号
電話番号 03-6834-2666
推奨用途 試薬

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

物理化学的危険性 引火性液体 区分3
健康有害性 急性毒性(経皮) 区分4
急性毒性(吸入:蒸気) 区分4
皮膚腐食性/刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A
生殖毒性 区分1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(肝臓 呼吸器
腎臓 中枢神経系)
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器 神経
系)
環境有害性 水生環境有害性 短期(急性) 区分2
水生環境有害性 長期(慢性) 区分2
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない
か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H226 引火性液体及び蒸気
H312+H332 皮膚に接触した場合や吸入した場合は有害
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H336 眠気又はめまいのおそれ
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H370 肝臓、呼吸器、腎臓、中枢神経系の障害
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、
神経系の障害
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざ
けること。禁煙。(P210)
容器を密閉しておくこと。(P233)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入し
ないこと。(P260)

応急措置	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)
保管	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
	特別な処置が必要である。(P321)
	皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313)
	火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)
	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
キシレン	100%	C8H10	(3)-3,(3)-60	既存	1330-20-7

4. 応急措置

吸入した場合

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

特別な処置が必要である。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

眼に入った場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、霧状水。

使ってはならない消火剤

棒状水。

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

情報なし

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法
及び機材
二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

容器を接地すること。アースをとること。

火花を発生させない工具を使用すること。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

涼しい所に置くこと。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保管

接触回避

安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
キシレン	50ppm	50ppm(217 mg/m ³)	TWA 20 ppm, STEL -

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。

手の保護具

ニトリル製保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

保護眼鏡、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状

色

臭い

融点／凝固点

沸点又は初留点及び沸点

範囲

可燃性

爆発下限界及び爆発上限 下限

界／可燃限界

上限

引火点

自然発火点

分解温度

pH

動粘性率

溶解度

n-オクタノール／水分配

係数

蒸気圧

密度及び／又は相対密度

相対ガス密度

粒子特性

その他のデータ

液体

データなし

無色透明～殆ど無色

芳香臭

データなし

138°C(推定)

データなし

1.1% v/v

7% v/v

25.0°C

データなし

データなし

データなし

データなし

0.2 g/L(水)

キシレン:3.12-3.2

10.65 hPa(推定)

0.86 g/cm³(推定)

データなし

データなし

蒸気密度:3.7

揮発物濃度:100%(推定)

比重:0.86(推定)

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

危険有害反応可能性

避けるべき条件

混触危険物質

危険有害な分解生成物

情報なし

情報なし

情報なし

引火点を超える温度。

混触危険物質との接触。

強酸

強酸化剤

ハロゲン

情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口

経皮

吸入

皮膚腐食性／皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性

／眼刺激性

呼吸器感作性

皮膚感作性

急性毒性推定値が3500mg/kgのため区分5とした。
JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に
該当しないに変更。

急性毒性推定値が1700mg/kgのため区分4とした。
(気体)

GHS定義による気体ではない。

(蒸気)

急性毒性推定値が6350ppmのため区分4とした。

(粉じん・ミスト)

データ不足のため分類できない。

区分2の成分合計が100%のため、区分2とした。

眼区分2の成分合計が100%のため、区分2Aとした。

データ不足のため分類できない。

データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性

データ不足のため分類できない。
データ不足のため分類できない。
(生殖毒性)
区分1Bの成分が100%のため、区分1Bとした。
(生殖毒性・授乳影響)
データ不足のため分類できない。
区分1(肝臓)の成分が100%のため、区分1(肝臓)とした。
区分1(呼吸器)の成分が100%のため、区分1(呼吸器)とした。
区分1(腎臓)の成分が100%のため、区分1(腎臓)とした。
区分1(中枢神経系)の成分が100%のため、区分1(中枢神経系)とした。
区分3(麻酔作用)の成分合計が100%のため、区分3(麻酔作用)とした。
区分1(呼吸器)の成分が100%のため、区分1(呼吸器)とした。
区分1(神経系)の成分が100%のため、区分1(神経系)とした。
動粘性率が不明のため、分類できないとした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

誤えん有害性

12. 環境影響情報 生態毒性

残留性・分解性
生体蓄積性
土壤中の移動性
オゾン層への有害性

水生環境有害性 短 (毒性乗率×10×区分1)+区分2の成分合計が100%のため、区分2とした。
水生環境有害性 長 (毒性乗率×10×区分1)+区分2の成分合計が100%のため、区分2とした。
データなし
データなし
データなし
データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意 残余廃棄物

汚染容器及び包装

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意 国際規制

海上規制情報
UN No.
Proper Shipping Class
Packing Group
Marine Pollutant

IMOの規定に従う。
1307
キシレン
3
III
applicable

	Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	Not applicable
国内規制	航空規制情報 UN No. Proper Shipping Class Packing Group 陸上規制 海上規制情報 国連番号 品名 クラス 容器等級 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附属 書II 及びIBC コードに よるばら積み輸送さ れる液体物質 航空規制情報 国連番号 品名 クラス 等級	ICAO/IATAの規定に従う。 1307 キシレン 3 III 毒劇及び劇物取締法の規定に従う。 船舶安全法の規定に従う。 1307 キシレン 3 III 該当 非該当 航空法に従う。 1307 キシレン 3 III 130
緊急時応急措置指針番号		
15. 適用法令 労働安全衛生法		変異原性が認められた届出物質(法第57条の4、労働基準局長通達) 第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号) 作業環境評価基準(法第65条の2第1項) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) キシレン(政令番号:136)(99.9%以上) 特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者(法第66条第2項、施行令第22条第1項) 劇物(指定令第2条) キシレン(100%) 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) キシレン(政令番号:80)(100%) 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) キシレン(管理番号:80)(100%) 優先評価化学物質(法第2条第5項)
毒物及び劇物取締法		
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)(令和5年3月31日まで)		
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)(令和5年4月1日以降)		
化審法		
16. その他の情報 連絡先		【Website】 http://www.biomerieux.co.jp/

参考文献

【問い合わせ先】

医療分野の方/代理店:0120-265-034

上記以外の方/代理店:0120-022-328

bioMérieux SDS (2020-02-14)

NITE-CHIRP (独立行政法人 製品評価技術基盤機構
化学物質総合情報提供システム)

JIS Z 7253 :2019 GHSに基づく化学品の危険有害性
情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全
データシート(SDS)

その他

ezSDS

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に
基づいて作成しておりますが、現時点における化学又
は技術に関する全ての情報が検討されているわけ
ではありませんので、いかなる保証をなすものではあり
ません。また、注意事項は、通常の取り扱いを対象と
したものです。特殊な取り扱いの場合には、この点の
ご配慮をお願いします。

【改訂経歴】

住所変更(2025.12)